

正しく動き、美しくつながり、強く創り出す「未来を生き抜く力」を育成する学校



「たい」のあふれる時津小



↑こちらからも↑

令和6年 6月19日（水） 発行人：校長 森内 秀学

ルールとマナー

4年生の道徳の教科書に、「雨のバス停留所で」という教材があります。

大雨の中、列の後ろに母親と並んでバスを待っていた女の子が、到着したバスに乗り込もうと列を抜け出して先頭に並んだら、怖い顔をしたお母さんに連れ戻され、納得しないまま理由を考え始めるという内容です。

私が以前、この授業をしたとき、子どもとのやり取りで、こんな意見が出てきました。

子ども：みんな並んでいるのに追い抜いて乗ろうとするなんて、ルール違反だと思います。

子ども：誰だって早く乗りたいのをがまんしているんだから、マナーが悪いと思います。

教師：ルールとマナーって、何が違うの？

子ども：う〜ん…ルールは、守るよう決まっていることで、マナーは、決まってないけど守った方がいいことです。

子ども：ルールはどこかに書いてあることが多いけど、マナーは書いてないんじゃない？

教師：バスの乗り方ってどこにも書いてないから、守らなくていいんじゃないかな。

子ども：決まってなくても、相手を思いやるためにマナーがあるんだよ。みんなが気持ちよく過ごせるように、マナーがあるんだよ。

みんなが気持ちよく過ごせるように、マナーがある…。これが、この日の子どもたちが出した答えでした。私は、子どもって立派だなと思ったことをよく覚えています。

さて、先日の放課後、本校近くの家電量販店の駐車場で、本校の児童と保護者の、こんな姿を見かけました。

① ランドセルを背負ったまま、駐車場を通り抜けて帰宅している子どもの姿。

② 商品の購入ではなく、子どもの送迎で駐車場に車を止めて談笑する保護者の周りを、待ちきれず走り回っている子どもの姿。

おそらく、このようなことは、日常的に起こっているに違いありません。駐車場には、当然、防犯カメラも設置してあるでしょう。それを、映像を通して、または直接、何度も目にしている店舗の方は、いい気持ちはしないでしょう。また、駐車場で事故が起らないか、冷や冷やしているに違いありません。

店舗内の駐車場には、「通り抜けてはいけません」とか「送迎を目的に駐車しないでください」などという看板はありません。だからこそ我々は、その配慮に甘えず、「みんなが気持ちよく過ごせるよう」お互いにマナーを守って生活していく必要があります。

子どもたちへの指導は、学校でも行いました。ご家庭でもぜひ、この店舗の件に限らず、「ルールとマナー」という視点でご指導ください。そして、ご自身にも心当たりがある場合には、子どもたちの手本となるべく、改めていただければと思います。

どうぞよろしくお願いいたします。